

## 避難施設別避難者数推計事業について

町田市では、2018年度、多摩市との共同事業として、市長会の補助金（多摩・島しょ広域連携活動助成金）を活用し、建築物の構造、分布等の地域特性を反映した避難施設毎の避難者数を推計いたしました。推計結果を活用し、震災対策の充実を図ります。

### 1 背景

震災発生時の自治体の避難者数は、都内各市とも2012年に東京都が発表した「首都直下地震等による東京の被害想定」を採用しておりますが、この数字は市全域の避難者数のみの想定であり、丘陵地帯と新興住宅地、団地等を考慮した、地域別の避難者数は推計されておりました。

町田市においては、市全体の避難者数を均等に割った750人（在宅避難者を含む避難者では1,300人）を各避難施設の避難者数と想定し対策をとっていましたが、震災対策の更なる充実を図るには、地域別の避難者数を明らかにする必要がありました。

### 2 事業内容

#### (1) 避難施設ごとの避難者数の推計

東京都が2012年に発表した「首都直下地震等による東京の被害想定」の250mメッシュデータを基に避難者数の推計を行いました。東京都のメッシュデータは、木造、非木造の建物棟数を含んでおり、本データを分析、活用することで、地域特性を反映した避難者数の推計が可能となりました。

メッシュ毎に避難者数を算出し、各メッシュをもっとも近い距離にある避難施設に割りつけすることで、避難施設毎の避難者数を推計しました。

#### (2) 避難施設別避難者数推計ツールの開発

(1)により推計した避難者数について、市の人口<sup>※1</sup>や構造別建物数<sup>※2</sup>などを入力することにより、時点更新をすることができる避難者数推計ツールを開発しました。

出典：※1 町田市統計書「2-1 世帯数と人口の推移」（市民部市民課）

※2 町田市統計書「9-2 用途別建物の棟数床面積」（財務部資産税課）

なお、当該ツールについては、南多摩5市（町田市、多摩市、八王子市、稲城市、日野市）分を作成しており、近隣市の避難者数についても確認することができます。

### 3 活用する補助事業

多摩・島しょ広域連携活動助成事業（補助率10分の10）

### 4 推計結果

○建物の全壊・半壊・焼失による避難者数（多摩直下地震）

（最少）木曾中学校 83人

（最多）町田第五小学校 3,738人

○在宅避難者を含む避難者総数（多摩直下地震）

（最少）木曾中学校 173人

（最多）町田第五小学校 4,715人

### 5 今後の対応

避難施設間で避難者数に大きな差が生じていることが判明しました。今後は推計結果の内容を精査し、次期町田市地域防災計画修正の中で対策を検討していきます。